

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2003年度第3回常任幹事会議事要録

日時：2004年3月16日(火)14時～16時40分

場所：南山大学 名古屋キャンパス 図書館1階会議室

出席：金城学院大学(鈴木 卓美)、椋山女学園大学(北出 幸夫)

大同工業大学(神谷 登司雄)、中京大学(中河原 省三)

愛知大学(三浦 文博)、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学(近藤 紀男)

南山大学(大森 正樹、栗山 義久、上田 義彦、石井 知好) 敬称略

議事に先立ち、理事校南山大学図書館長(大森)より開会の挨拶、および出席者の自己紹介が行われた。慣例により議事の進行は理事校南山大学図書館長(大森)が担当し、下記の議題を協議した。

<報告事項>

1. 第2回常任幹事会(12月5日)以降の経過について

(1) 2003年度第3回西地区部会役員会・2003年度第2回東西合同役員会

理事校南山大学(栗山)より、資料(p.1-10)に基づき、西地区部会役員会について次のとおり報告が行なわれた。

1) 2004年度の事業計画、予算とも例年どおりであり、承認された。

2) 総会、研究会概要案についても承認され、また館長懇話会についても継続して実施することとなった。ただし、今年度のアンケート結果を踏まえ、次年度は事前にテーマ等を決めることとした。

引き続き資料(p.11-32)に基づき、東西合同役員会について次のとおり報告が行なわれた。

1) 総会・研究大会に開催・運営の透明性を確保することを目的とし「総会・研究大会特別会計」を設けることとし、会則が一部改正された。

2) 2004年度の事業計画、予算とも例年どおりであり、承認された。

ア. 協会賞審査委員会・研究助成委員会

協会賞審査委員会・研究助成委員会委員金城学院大学(鈴木)より、資料(p.33)に基づき、標記委員会は3月4日に開催され、協会賞については1件、研究助成については2件受理することとし、役員会への提案が行なわれたとの報告がされた。引き続き理事校南山大学(栗山)より第2回東西合同役員会において原案が承認されたとの報告が行なわれた。

イ. 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員中京大学(中河原)より、資料(p.34-35)に基づき標記委員会、および図書館協力基金報告会、寄贈資料運搬事業、海外派遣研修等の報告が行なわれた。

ウ．協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員南山大学（石井）より、資料（p.36）に基づき、東海地区協議会ホームページのアクセス数についての報告が行なわれた。

（２）２００３年度東海地区協議会事業経過報告及び中間決算（案）について

理事校南山大学（栗山）より、資料（p.37-41）に基づき、事業および中間決算について次のとおり報告が行なわれた。

- １）収入の部については、賛助会費に差異が発生した。
- ２）支出の部においては、次年度繰越金が昨年度より減少している。

（３）２００３年度各委員会活動報告及び決算（案）について

ア．東海地区研究会

研究会幹事校大同工業大学（神谷）より、資料（p.42-46）に基づき、第７回研究会運営委員会、第５回研究会を実施したとの報告が行なわれた。また決算案について、研究会の開催回数が増加したため、通信費が増加したとの報告が行なわれた。

イ．東海地区協議会相互協力委員会

相互協力委員会委員長校金城学院大学（鈴木）より、資料（p.47-51）に基づき、情報化委員会と合同で情報交換会を開催し、２９大学５２名の参加者があったとの報告が行なわれた。併せて委員会活動および決算案について報告が行なわれた。

ウ．東海地区協議会情報化委員会

情報化委員会委員長校愛知大学（三浦）より、資料（p.52-54）に基づき、相互協力委員会と合同で情報交換会を開催し、２９大学５２名の参加者があったとの報告が行なわれた。併せて委員会活動および決算案について報告が行なわれた。

エ．図書館管理・運営実務責任者会議

図書館管理・運営実務責任者会議委員長校南山大学（上田）より、資料（p.55-57）に基づき、年２回の会議および決算案について報告が行なわれた。

（４）東海地区大学図書館協議会について

東海地区大学図書館協議会運営委員校相山女学園大学（北出）より、平成１５年度第２回研修会が２月９日、「SPARCの現状とSPARC/JAPANの今後について」とのテーマで開催され、５２名の参加者があり無事終了したとの報告が行なわれた。続いて理事校南山大学（栗山）より公共図書館との連携を目的とした、「東海地区公共図書館・大学図書館連携・協力検討部会」が設立され、部会には第２回より南山大学、金城学院大学、中京大学が参加することになっている。この件についてはホームページおよび「東海地区大学図書館協議会総会」（２００４年７月１４日開催予定）で加盟館に報告されるであろう、との報告が行なわれた。

<協議事項>

(1) 2004年度東海地区協議会総会について

理事校南山大学(栗山)より、資料(p.58)に基づき、2004年度総会は6月3日に名古屋外国語大学・名古屋学芸大学を会場として開催するとの案が説明され、承認された。続いて、2004年度総会当番校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学(近藤)より会場等の説明が行なわれた。

(2) 2004年度東海地区研究会について

2004年度研究会幹事校中京大学(中河原)より、資料(p.59)に基づき、次のとおり研究会の事業計画案が説明され、承認された。

- 1)「利用者の情報ニーズと図書館サービス」をテーマに、研究会を5回、および研究集会を行なう。
- 2)運営委員を11名、オブザーバーとして理事校及び相互協力委員会委員長校を選出した。

(3) 2004年度以降の私立大学図書館協会理事校・当番校について

理事校南山大学(栗山)より、資料(p.60-61)に基づき、2004年度役員校および委員校についての説明があり、同時に2005年度研究会当番校である中京女子大学から学内行事の都合により順番を交代してほしいとの申し出があったことの報告があった。協議の結果、マニュアルに従い当番校および理事校が2006年度以降の当番予定校に打診することとなった。なお、当番校が変更する場合、2004年度研究会幹事校および2004・2005年度東海地区大学図書館協議会運営委員校の交代も伴うことを確認した。

(4) 東海地区協議会交付金の扱いについて

理事校南山大学(栗山)より、研究会、委員会等への交付金の扱いについて、使い切りには無理が生じるので、当番校の負担を減らすために、不足が生じれば追加し、残額が生じれば本会計へ戻す方法に改めたいとの提案があり、次年度より変更することを承認した。なお、交付金の名称を支援費とすることとした。

<確認事項>

(1) 東海地区協議会および関連団体2004年度行事予定表について

理事校南山大学(栗山)より、資料(p.60-61)に基づき、東海地区協議会および関連団体2004年度行事予定について説明があり、確認を行なった。

以上